

## 施策の方向性について

中山間地域振興条例に掲げる4つの基本方針<sup>(※)</sup>に基づき、現時点において、中山間地域の振興に資すると考えられる項目について、その基本的考え方と、主な論点を提示したもの。(中間まとめ 6 関係)

この資料をもとに、施策の方向性について、市町との意見交換等を行った。

今後、中間とりまとめに記述する「施策推進に当たっての視点」を踏まえつつ、引き続き、市町や関係団体との意見交換等を重ねながら、中山間地域振興計画において整理していくこととしている。

(※) 4つの基本方針

- 1 県民の自主的かつ主体的な地域づくりを促進すること
- 2 産業の振興等による雇用機会の創出を図ること
- 3 日常生活を支える機能の確保等により、定住の促進に必要な環境の整備を図ること
- 4 多様な主体の交流及び連携による地域づくりを図ること

### (1) 県民の自主的かつ主体的な地域づくりの促進

#### 《基本的な考え方》

- 中山間地域が将来にわたって継承されていくためには、県民がそれを望み、居住や交流などにより、地域内外でつながりを持ち続けることが必要ではないか。
- そのためには、県民が自主的かつ主体的に、つながりを保ち続けたいと望む地域の将来像を描くことが必要ではないか。

#### 《施策の方向性》

##### ■地域づくりの意識の醸成

##### (中山間地域の価値の再認識)

##### 【論点】

- 中山間地域の持続可能性について懸念がある中で、県民にそのかけがえのない価値の再認識を促すことにより、持続的な地域づくりに向けた意識醸成が図られるのではないか。
- このため、中山間地域の価値や豊かさについて、地域内外に広く普及啓発を図るとともに、特に若年層において、地域価値に対する誇りや愛着を高めていく必要があるのではないか。

## (地域づくりへの取組意欲の醸成)

### 【論点】

- 人口減少やコミュニティの衰退などにより、住民主体の地域づくりが困難になる中で、地域づくりに取り組む意欲を醸成することによって、活動の活発化を育む端緒となるのではないか。
- このため、先進地域における地域づくりへの熱意や実践内容などを広く紹介するとともに、地域が取組へ踏み出すために必要なサポートを図っていく必要があるのではないか。

## ■地域づくりの促進

### (住民による地域の将来像の構築)

### 【論点】

- 地域の将来に不安感を抱く住民が多い中、将来の姿を明らかにし、その姿を目指した取組を行えば、不安感の払しょくにつながるのではないか。
- このため、地域自らが望む地域の将来像を明確にし、地域で共有する必要があるのではないか。

### (地域づくりの取組体制の整備)

### 【論点】

- 地域づくりの担い手の確保が課題となる中、その推進体制を整備すれば地域の将来像の構築促進が図られるのではないか。
- このため、地域政策の観点から、例えば、農あるライフスタイルなど、中山間地域における多様な生活形態の魅力を高めていく中で、地域づくりの中心となる人材の育成・確保を図っていく必要があるのではないか。
- また、様々な意見を踏まえた一体感のある地域づくりを図っていくために、若者や外部人材など、地域内外の様々な主体の地域づくりへの参画を促していく必要があるのではないか。

### (地域づくりの取組促進)

### 【論点】

- 地域の将来に不安感を抱く住民が多いと思われる中、地域自らが描く地域の将来像の実現を図ることが、その軽減や払しょくにつながるのではないか。
- このため、地域が主体的に実施する、将来像の実現に向けた取組を促進していく必要があるのではないか。

## (2) 産業の振興等による雇用機会の創出

### 《基本的な考え方》

- 中山間地域における転出超過の大きな要因は、就業に関することとなっている。
- 特に、地域の将来を担うことが期待される若者世代の転出抑制や転入促進を図るためには、地域において、生活を営むための所得が得られる雇用の場が確保される必要があるのではないか。
- このため、産業の振興等により、地域における雇用の場を創出していくとともに、就業者を地域内外から確保していくことが必要ではないか。
- なお、産業の振興を図る際には、中山間地域の有する価値やコミュニティなど、地域特性や地域力を活かした産業づくりを考慮する必要があるのではないか。

### 《施策の方向性》

#### ■持続的な雇用を創出する産業の振興

##### (農林水産業の振興)

###### 【論点】

- 就業機会の確保が課題となる中で、地域の特性を活かした中山間地域の農林水産業を振興することが、雇用の創出、ひいては若者の定住につながるのではないか。
- このため、就農を促進するための担い手の確保や農商工連携などを含む経営力の強化、生産体制の整備などにより、産業として自立できる農林水産業の構築を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域生活を営むことができる所得を確保するため、農林水産物の販売や消費の拡大を図っていく必要があるのではないか。
- さらに、農地や森林の適切な管理保全などにより、地域の有する様々な公益的機能の維持発揮を図っていく必要があるのではないか。

##### (商工業の振興)

###### 【論点】

- 雇用の場の確保が課題となる中で、中山間地域の商工業を振興することが地域における雇用の創出につながるのではないか。
- このため、経営基盤の安定化や高度化などにより、地域の活力や雇用の創出を支える地場産業の振興を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域の資源を活かした新たな産業づくりなどにより、地域における新たな雇用の創出を図っていく必要があるのではないか。
- さらに、地域の新たな雇用の創出に即効性のある、企業の誘致を図っていく必要があるのではないか。

## (観光の振興)

### 【論点】

- 雇用の場の確保が課題となる中で、中山間地域の観光を振興することが、関連産業の振興を通じた雇用の創出につながるのではないかな。
- このため、地域への観光客の誘引など、交流の促進を通じた新たな産業づくりなどにより、地域の雇用の創出を図っていく必要があるのではないかな。

## ■産業を担う人材の確保

### (雇用と求職者のマッチング)

### 【論点】

- 求人と求職のミスマッチが懸念される中、中山間地域の産業を担う人材を着実に確保することが、地域産業の活性化や就業人口の確保につながるのではないかな。
- このため、地域における雇用と、地域内外の求職者とのマッチングを図っていく必要があるのではないかな。

## (3) 日常生活を支える機能の確保等による定住の促進に必要な環境の整備

### 《基本的な考え方》

- 地域に住み続けるには、人が生活を送るために欠かせない機能が確保されている必要がある。具体的には、医療・福祉、生活交通、防災・防犯、給水・汚水処理など、多岐にわたる分野において、地域への目配りを行いつつ、安心して人が住み続けるために必要な機能の維持確保を図る必要があるのではないかな。
- また、教育や保育などの子育て環境、文化やスポーツ、レクリエーション、自然環境の保全など、生活を豊かにするための機能の維持確保も必要ではないかな。
- こうした定住の促進に必要な環境の整備にあたっては、地域の特性や実情を勘案し、これにマッチしたものとなるよう考慮すべきではないかな。

### 《施策の方向性》

## ■安全・安心な暮らしづくり

### (医療体制の確保)

### 【論点】

- 高齢化が進展する中で、地域で暮らすに当たり必要な医療を適切に受けられる体制の確保を図ることにより、安心して住み続けることができる地域となるのではないかな。
- このため、医師や看護職員などの地域の医療を支える人材の確保を図っていく必要があるのではないかな。
- また、医療機関の連携強化や機能分担などにより医療資源の効果的な活用を図っていくべきではないかな。

## (高齢者等に対する福祉・介護体制の確保)

### 【論点】

- 高齢化が進行する中で、高齢期における自分らしい暮らしをみんなで支え合うことができる地域づくりを行えば、介護や支援が必要な高齢者等も安心して住み続けることができる地域となるのではないか。
- このため、医療・介護・予防などのサービスを一体的に提供する地域の包括的なケア体制や介護サービス基盤などの整備を図っていくとともに、助け合いによる住民の地域生活をサポートするため、地域で支えあう互助の体制づくりを促進していく必要があるのではないか。

## (交通基盤の確保)

### 【論点】

- 自家用車などによる移動手段を持たない高齢者などの増加が予想される中、こうした高齢者や子供等の学校、病院、買い物施設への移動など、地域の暮らしを支える移動機能の維持・確保することにより、安心して住み続けることができる地域となるのではないか。
- このため、地域の暮らしを支える生活交通体系の維持や確保を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域内外における交通移動の円滑化を確保するための基盤として必要となる道路や港湾の整備を図っていく必要があるのではないか。

## (防災・防犯体制や基盤の整備)

### 【論点】

- 人口が減少傾向にある中においても、災害や治安等に関する懸念の少ない環境の整備を図ることにより、安心して住み続けることができる地域となるのではないか。
- このため、各地域の特性に応じた安全・安心な暮らしを支えるために必要な防災・防犯体制や基盤の整備を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域における安全で快適な生活を確保するため、今後、老朽化が懸念される社会資本の計画的な維持管理などに配慮する必要があるのではないか。

## (居住環境の整備)

### 【論点】

- 人口が減少傾向にある中において、地域で暮らすにあたり必要な居住環境の確保を図ることにより、安心して住み続けることができる地域となるのではないか。
- このため、住居、給水・汚水処理やごみ処理体制など、地域で暮らすにあたり必要な機能について、地域の実情を踏まえた確保策を講じていく必要があるのではないか。

## (情報通信基盤の活用)

### 【論点】

- 人口が減少傾向にある中において、生活に必要な情報の取得や活用ができる環境があれば、安心して住み続けることができる地域となるのではないか。
- このため、医療・防災・防犯などの面において、地域の安全・安心な暮らしに繋がるよう情報通信基盤の活用により、迅速かつ確実な情報伝達を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域の資源や魅力その他に関する地域外への情報発信など、情報通信基盤を活用した地域の活性化を図っていく必要があるのではないか。

## ■豊かな暮らしづくり

### (教育環境の確保)

#### 【論点】

- 若年層も含め人口が転出超過傾向にある中で、子育て世代の確保を図るためには、教育内容の充実を図る必要があるのではないか。
- このため、地域内に所在する学校においては、地域と連携した特色ある学校づくりなどの教育環境の整備を図っていく必要があるのではないか。また、地域における豊かな教育を展開していくため、学校づくりにおける地域の参画や交流などを促進していく必要があるのではないか。

### (子育て環境の確保)

#### 【論点】

- 若年層も含め人口が転出超過傾向にある中で、地域で安心して子育てできる環境の確保を図ることにより、子育て世代の確保が図られるのではないか。
- このため、保育サービスの確保など、子育て環境の整備を図っていく必要があるのではないか。

### (文化・スポーツ等の振興)

#### 【論点】

- 中山間地域の活力低下が懸念される中で、生活の豊かさを彩る文化・スポーツ等に接する機会の確保を図ることにより、地域生活の魅力向上や活性化につながるのではないか。
- このため、文化・芸術に身近に接する機会の創出や、地域で引き継がれてきた貴重な伝統文化について、次世代への継承や地域内外との交流促進への活用を図っていく必要があるのではないか。
- また、地域で健康かつ文化的な生活を営むため、住民がスポーツやレクリエーションを楽しむことができる機会の創出を図っていく必要があるのではないか。

## (豊かな自然環境の確保と持続可能な利用)

### 【論点】

- 人口減少等により自然環境の荒廃が懸念される中で、中山間地域の強みである豊かな自然環境の確保を図ることにより、引き続き、地域に人を引き付ける魅力ある資源であり続けるのではないかな。
- このため、中山間地域の豊かな自然環境の適切な維持保全を図っていくとともに、外部等との交流への活用や、資源としての有効活用を持続的に図っていく必要があるのではないかな。

## (4) 多様な主体の交流及び連携による地域づくり

### 《基本的な考え方》

- 外部との交流は、人と人のふれあい、地域の賑わい、地域経済への貢献、定住への発展など、地域に活力を生み出すことが期待できるのではないかな。また、人口減少等による人材確保が課題となっている中山間地域で地域づくりを行うには、外部等の多様な主体の持つ力との連携が重要となってくるのではないかな。
- このため、県民・地域づくり団体・企業・大学・行政など、多様な主体の交流や連携を促進し、地域のファンや応援団の獲得、定住者の確保などによる、地域の価値に共鳴する外部人材も含めた「人の力」を活かし、地域の活性化を図っていく必要があるのではないかな。
- また、中山間地域があるから広島県があるという観点に立ち、ふるさと納税のような、広く県民全体で中山間地域を支えるといった視点も含め、外部による地域へのサポートを促進することにより、地域における暮らしの安心や豊かさの確保を図っていくべきではないかな。

### 《施策の方向性》

#### ■中山間地域と外部等との交流と連携

##### (中山間地域と外部との交流の促進)

### 【論点】

- 中山間地域の活力低下が懸念される中で、中山間地域と外部の交流が促進すれば、地域の活性化とともに、地域の良さを実感した外部からの定住者の出現が期待できるのではないかな。
- このため、地域の良さを実感できる観光や体験などによる交流促進により、中山間地域のファンの獲得や拡大を図っていく必要があるのではないかな。
- また、中山間地域の魅力に関する外部への情報発信により、中山間地域と外部との交流促進を図っていくべきではないかな。

## （中山間地域と外部人材等との連携）

### 【論点】

- 人口減少や高齢化などにより、地域自らによる地域づくり活動が困難になる中で、外部等の多様な主体の協力を得ることにより、豊かで安心できる地域づくりへの取組促進が図られるのではないか。
- このため、県民・地域づくり団体・企業など、多様な主体の参画を得た地域づくりを促進していくべきではないか。
- その際、多様な主体と地域が円滑な連携のもとで地域づくりが促進されるよう、地域における気運の醸成などを図っていくべきではないか。

## ■新たな担い手の確保

### （中山間地域への定住促進）

### 【論点】

- 人口が減少傾向にある中で、U J Iターンによる定住が活発化すれば、将来の継承者がいる持続可能な地域となるのではないか。
- このため、外部との交流や連携を発展させ、地域の新たな力となる定住者の確保や円滑な地域への定着を図っていくべきではないか。